

# 「男女共同参画の視点に立った地域の課題解決」のためのプログラムデザイン

【事業名】 男女共同参画による「地域守り」講座

【趣旨】

男女共同参画の考えを、地域活動の維持継続のための「地域守り」の主軸と捉え、地域自治組織において男女共同参画の理解と実践を行う。

課題

地方では、男女共同参画の理解が少なく、実践者も少ない。また、急激な少子高齢化で人口減少が進み、地域の存続に大きな課題を残している。

目的

疲弊する地域社会及び地域自治組織の存続を図るため、男女共同参画の考えで「地域守り」を実践していくリーダーを養成する。

対象

住民自治組織全体（構成団体代表者による合議組織）

連携先

構成団体（町内会、自治会）

目標

基点・基軸の形成

課題解決

振り返り

男女共同参画推進意識の形成

現状把握

課題把握・課題共有

課題解決の方策の検討

課題解決のための行動

内容

**課題・実態把握**  
「地域内の住民自治組織では男女共同参画意識が浸透していないようである」

**仮定**  
「住民自治組織は、農業団体や女性団体、スポーツ団体など地域の中で活動する団体の代表者で構成しているが、ほとんどの団体では、旧来からの性的役割分担意識が残っている可能性が高い」

**団体ごとに意識調査の実施（構成団体）**

①構成団体ごとにアンケートを実施して、男女共同参画意識の把握と課題を検証する。

**団体ごとのワークショップの実施（構成団体）**

①アンケートにより出された課題や問題点を構成団体ごとにワークショップを実施して、現況の把握と課題を共有し、解決策のヒントを探る。

**全体研修会の実施（全体組織）**

①専門家や外部講師を招き、研修会を実施して、アンケート結果や団体ごとのワークショップで出された課題についての解決策などを学習する。

**団体ごとに自主研修会実施（フィードバック）**

①専門家のアドバイスや講演から、それぞれの団体での課題解決の具体策を検討する。

↓

①構成団体ごとの検討後に、全体会を実施して、団体での方針を共有して、最終的には住民自治組織としての行動計画を立案する。

**広報や伝達講習会を行う周知**

①住民に経過報告を行うと共に、地域としての行動計画を共有していく。

方法

課題解決想定

アンケート

ワークショップ

研修会、講座

振り返りワークショップ

広報